

○公共施設等の景観誘導について

令和2・3年度の公共建築物の取組み

区の公共建築物(学校等)の建替え計画に対して、これまでは実施設計の段階で行っていたアドバイザー制度による助言を基本設計の段階で行い、公共建築物における良好な景観誘導に向け、より有効にアドバイザー制度の活用を図っていく。

令和2・3年度  
(新たな取組み)

事前に現場調査を行い、市街地類型や景観資源について確認した。(令和2年度) 事前調査を基に、基本設計の段階でアドバイザー制度を活用し、良好な景観の実現に向けた選択肢を広げることに繋げる取組みを行った。

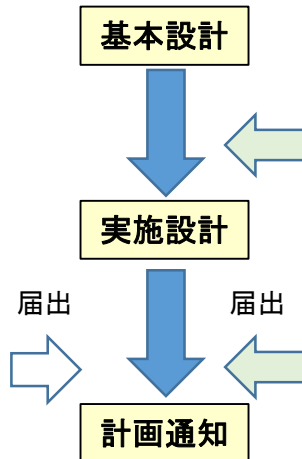
実施設計の中でも、アドバイザー会議の継続的な活用を図り、良好な景観形成の見える化に繋げていく。

また、竣工物件についても現場視察を行い総括をし、良好な景観誘導事例として取りまとめていく。

これまで

アドバイザー会議

これまでは、実施設計段階の届出業務の中でアドバイザー制度を活用していた。



上記地図を用いて、景観アドバイザーと共に現地調査を行い、市街地類型や景観資源などの景観特性を確認し、考察を行った。



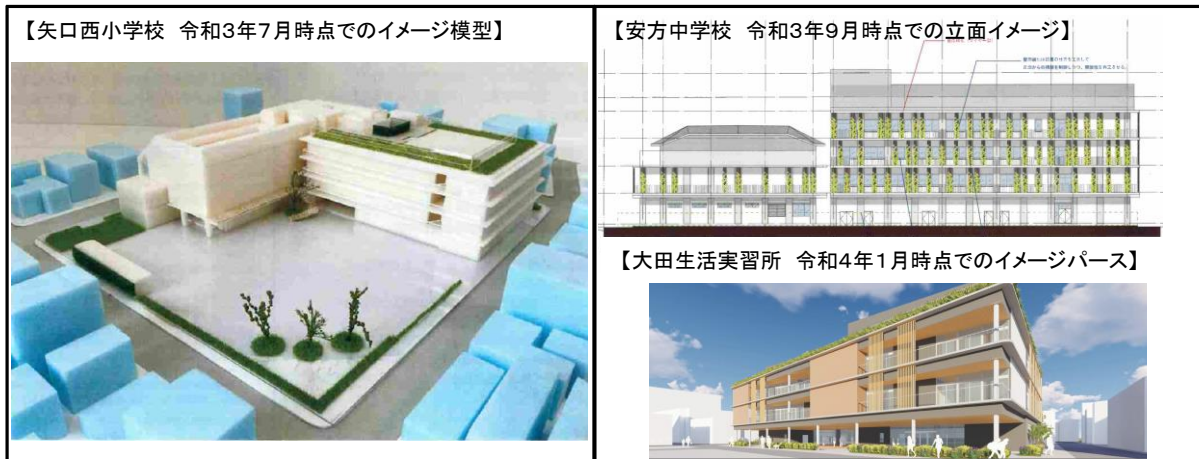
大森第四小学校 竣工後現場調査



大森第七中学校 竣工後現場調査

令和3年度の取組み①

昨年度現地調査・考察を行った、区管理の公共建築物について、設計・工事主管課と連携しながら基本設計段階での景観アドバイザー制度の活用及び、基本設計の成果品に景観の視点を盛り込む取組みを試みた。基本設計段階でアドバイザー制度を活用した案件は5件。



模型や立面図、イメージパース等を用いて、全体のボリュームや近隣からの見え方等を確認しながら、外壁の素材や外構計画について考察を行った。

《アドバイザーからの主な意見》

- ・フェンスの設け方は、周辺からの見え方に大きく影響を与えるため、仕様や植栽の配置には配慮が必要である。
- ・外構の植栽計画については、線で見せるか、面で見せるかで周囲からの見え方が大きく変わってくるので、効果的に配置を検討されたい。
- ・外壁に強調色を使用する場合、赤やオレンジなどの彩度の高い色を使用するのではなく、ベーシックな色を濃淡により強調させると良いのでは。

来年度以降の取組み①

今年度の取組みを振り返り、今後の公共施設の景観誘導を検討し、より効果的な景観の助言を続ける。今年度実施した案件については、実施設計を有意義に進めるため継続的にアドバイザー制度を活用していく。

令和3年度の取組み②

竣工後、景観アドバイザーと共に現場視察を行い、意見交換を行った。振り返りを行うことで今後のアドバイザー制度の充実を図る。

**大森第四小学校**

樹種を選べば高木の植栽可能

敷地外周の距離(距離)はいろいろなパターンがあるが、設計意図が実現できている。

敷地内外の植栽材も同一素材で施工されており内外の一体感がある。

防球ネット前後にたががりとした緑がとられており、将来的に「緑の線」になると思われる。

四隅のランドマークツリー  
街角の緑として、ランドマークになる高木があると良い

防球ネットの間隔がやや狭いが、将来的に「緑の線」並木になると思われる。

支柱の溶融鉛メッキ仕上げはニュートラルな素材感があり悪目立ちしなくて良い。コンクリート打ち放しの門壁との相性も良い。

ゲート脇のシンボルツリーが枯れているので植替えが必要

凡例  
景観上評価のできる点  
景観上のアドバイス  
植栽管理上の課題

《アドバイザーからの主な意見》

- ・四隅の植栽を工夫するとさらにしまりのある緑地帯になったと思われる。
- ・東西南北の立面をそれぞれ違った形で分節化しており、周辺への配慮が感じられる。特に西面のルーバーは建物に表情をあたえている。
- ・外観全体の印象はすっきりしつつ、床の色や低層部の色と木製ルーバーの色により、温かみが増えられ、小学校らしい楽しさがありつつ、周辺環境に馴染んだものとなっていた。

---

**大森第七中学校**

建物の足元の植栽があるため効果的

ゲート位置の工夫等でフェンスを校舎側に設けることも可能だったのでは？

フェンス無しでの設計も可能だったのでは？

比較的ゆとりある植栽空間なので、前庭み植栽を設ける際には通常での植栽がより望ましい

フェンスのデザインが良いが、フェンスがあることによってせつ々の植栽が街並み景観に容れられていない。

植栽管理上の課題

四隅のランドマークツリー  
街角の緑としては道沿いにランドマークとなる高木がある方がより効果的。

高木が育つ空間が建築側に確保されていない。東のゆとりある空間での植栽が望ましい。

フェンス無しでの設計も可能だったのでは？

生垣がフェンスに接しており管理上の課題がある。

凡例  
景観上のアドバイス  
植栽管理上の課題

《アドバイザーからの主な意見》

- ・街と繋がる「良好な緑を提供」する視点を持つのであれば、フェンス配置(フェンスの有無)を含めた植栽帯のありようを検討することが今後重要になってくると思われる。
- ・建物の3階部分を敷地内側にセットバックさせており、外周道路からは3階建てには見えず、周辺のスケール感から突出しない景観となっている。
- ・色や建築デザインを工夫することで圧迫感を排除し、周辺環境に溶け込んでいた。

来年度以降の取組み②

今後、公共建築物について今回の振り返りを活かし、引続き良好な景観形成の誘導に繋げる。成果の積重ねによって、良好な景観形成の見える化についての検討を続ける。